

事務事業名	合併に伴う事務事業調整進捗管理事業				担当	総務部 企画課 企画調整係			
政策名	G	効率的で市民にわかりやすいまちづくり				増補版施策名			
施策名	3	広域行政・地域連携の充実				☐ 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	☐ 単年度のみ			
法令根拠						☒ 単年度繰返（開始年度 21 年度～）			
予算科目	1.一般会計	2.総務費	1総務管理費	6企画費		☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	合併協議において「新市に移行後、調整する」などとされた事務事業について、合併後の調整内容を管理し、その進捗状況を公表するもの								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 29年度実績 回答の取りまとめ 30年度計画 事務事業調査依頼 回答の取りまとめ、報告 市ホームページへ結果を公表			⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
			名称	単位	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(見込)
			ア 調査回数	回	1	1	1	1	1
			イ 公表回数	回	1	1	1	1	1
			ウ						
			エ						
			オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等 「新市に移行後、調整する」などとされた事業			⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
			名称	単位	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(見込)
			ア 事務事業数	件	38	38	38	38	38
			イ						
			ウ						
			エ						
			オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 進捗状況を把握し、事業ごとの進捗状況を公表する。			⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
			名称	単位	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(見込)
			ア 調整が済んだ事業数	件	37	37	37	37	37
			イ						
			ウ						
			エ						
			オ						
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 合併時に調整することとなった事業の進捗を管理し、責任ある市政運営を行う。			⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
			名称	単位	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(見込)
			ア 市政（まちづくり）に満足している市民の割合	%	66.1	64.8	66.8	67.4	
			イ						
			ウ						
			エ						
			オ						
(2) 総事業費の推移				単位	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	0	0	0	0	0
			事業費計（A）	千円	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
			延べ業務時間	時間	15	15	15	15	15
			人件費計（B）	千円	63	63	62	62	62
			トータルコスト(A)+(B)	千円	63	63	62	62	62
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等									
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか。		平成21年3月23日、真岡市と二宮町が合併し、その合併協議の中で、一部の事務事業について新市に移行後、事務事業の内容を調整するとされたため。							
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？		「新市に移行後、調整する」とされた事務事業のほとんどが、真岡市の制度に統一する等実施済みとなっている。							
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？		平成21年9月議会において、調整の進捗状況及び情報公開の要望があった。							